

## 警察が奨める「夏の安全確保」の

### 方法

夏休み期間中多くの家庭では短期、長期に家を空けることが多い。盗人どもは留守のサインを出している家を探しているの、留守であることを分からないように、できる限り工夫しよう。留守の期間がその日限りでも、一週間であっても、簡単なやり方で家と家族を守ることができる:

- ✧ 休暇予定や休暇中にすることを、フェイスブック、ツイッターなどのソーシャルネットワークサイトで公開しないようにしよう。移動機器では、Google Latitudeのようなプログラムは非公開ないしは非接続にしよう。
- ✧ 信頼できる友人か隣人に、家の様子を毎日チェックすることを頼もう。広告や手紙を取り込み、家の車寄せを使うように頼もう。
- ✧ 信頼できるほかの隣人たちに、家を空けることやその間に敷地に入出入りする人物について知らせておこう。異常があったら警察に通報するよう頼もう。
- ✧ 定常的に芝刈りや庭の手入れがされるようにしよう。
- ✧ 留守電は、在宅しているようにセットしよう。留守電がない場合は呼び出し音は低く設定しよう。
- ✧ ガレージドアの遠隔操作ができないようにセットしよう。
- ✧ 家を空ける場合ないし休暇中、外から見ると、家に誰かがいるようにしておこう。電灯接断のタイマーを活用しよう。

✧ 貸し金庫を利用しよう。

「夏の安全確保」についてさらに詳しい情報が必要な場合は、郡警察のウェブサイト [www.peel.police.ca](http://www.peel.police.ca) で、“Crime Prevention”ボタンをクリックし、“Featured Seasonal Safety Tips”を閲覧されたい。

その他の安全確保の進め方については B. Rutz 警部または T. McKay 警部に問い合わせられたい (電話 (905) 453-2121, ext. 4020/4025)。

(以下略)

### JSS説明

この記事はピール郡警察が発表した、いわゆる空き巣狙いの家宅侵入に的を絞った、夏の安全確保に関するものである。ピール郡に限らず、季節に応じて被害を防ぐ努力をするべき事態はこのほかにも少なくないが、事件発生頻度から見て、又検挙率(犯人が特定され、訴追が行われた)の低さから見ても、被害を事前に防ぐことが大変重要でかつ可能なのがこの種の犯罪であろう。

因みに、統計局が昨年の犯罪統計を未発表なので一昨年の数字になるが、2008年トロント市警が管区内で認識した、一戸建ておよびアパートに対する家宅侵入事件は約8千件、うち一戸建て家屋に対するものは約5千件であった。さらにこれらの事件の検挙率は約18%と言う。

各警察が発表する事件の詳細を見てみると、家宅侵入事件では特定の家宅を狙ったものも無いわけではないが、その殆どは侵入の機会を窺った犯人に、易しと眼をつけられたものが多いように見受けられ、したがって目をつけられないようにすることで被害が防げるものが多いと感じられる。

記事にあるように、短期にせよ長期にせよ家を空けていることがあからさまにならない努力、さらに近隣や友人の協力を得ることで、被害はかなり防げるようだ。